

武道ツーリズム 武道界の現状と課題

令和元年 11 月 11 日
公益財団法人日本武道館

1 現 状

日本武道協議会加盟 10 団体のうち、全日本銃剣道連盟と日本武道館を除く 8 団体は、いずれも国際組織を有している。

武道界の令和元年度国際交流事業（国内実施）は以下の通り。

①日本武道協議会（加盟 10 団体）

- ・（公財）全日本柔道連盟 世界柔道選手権東京大会（8/25-9/1）、グランドスラム大阪（11/22-24）、日本ベテランズ国際柔道大会（5/18-19）
- ・（一財）全日本剣道連盟 外国人剣道指導者夏期講習会（7/19-26）
- ・（公財）全日本弓道連盟 特別外国講習会（名古屋 4/27-30、東京 10/27-30）
- ・（公財）日本相撲連盟 国際女子相撲選抜堺大会（4/14）、世界相撲選手権大会（10/20）、世界ジュニア相撲選手権大会（10/20）
- ・（公財）全日本空手道連盟 プレミアリーグ 2019 東京大会
- ・（公財）合 気 会
- ・（一財）少林寺拳法連盟
- ・（公財）全日本なぎなた連盟
- ・（公社）全日本銃剣道連盟
- ・（公財）日本武道館 米国無門空手一行（4名）、英国少年柔道チーム（ハーロウ校・セントポール校生徒 19名）、中国 2 団体（青年メディア関係者代表団 29名、国家体育総局訪問団 24名）、第 2 回外国人留学生等対象国際武道文化セミナー（R2. 3/6-8 実施、約 80名）

②全国都道府県立武道館協議会（46 都道府県 50 館加盟）

広島県立総合体育館（広島県広島市）で実施の計画あり（令和 2 年度～）。

③日本古武道協会（77 流派加盟）

大東流合気柔術（近藤勝之本部長）では「特別稽古」を令和元年 8 月 5 日～11 日の 6 日間、主に海外修業者約 130 名が参加して、日本武道館研修センターで開催した。

◇加盟流派の海外支部・道場の状況

- ・神奈川 糸洲流空手（海外 20 カ国）
- ・沖縄 沖縄剛柔流武術（海外 65 カ国）
- ・愛知 尾張貫流槍術（アメリカ支部）
- ・奈良 直心影流薙刀術（海外 3 支部）
- ・東京 大東流合気柔術（海外 42 支部）
- ・千葉 立身流兵法（海外 3 カ国・支部）
- ・東京 天道流薙刀術（海外 5 支部）
- ・熊本 兵法タイ捨流（海外 10 カ国）
- ・奈良 宝蔵院流高田派槍術（ドイツ支部）
- ・愛知 柳生新陰流兵法剣術（海外 2 カ国）
- ・東京 琉球古武術（海外 20 カ国）
- ・静岡 水鷗流居合剣法 正木流鎖鎌術（海外 10 支部）
- ・大阪 円心流居合据物斬剣法（ロシア支部）
- ・東京 小野派一刀流剣術（海外 4 カ国）
- ・東京 金硬流唐手沖縄古武術（海外 12 カ国）
- ・東京 神道無念流剣術（中国広州支部）
- ・大阪 大東流合気柔術琢磨会（海外 5 カ国）
- ・千葉 天真正伝香取神道流剣術（海外 6 カ国）
- ・東京 根岸流手裏剣術（海外 3 カ国）
- ・福岡 兵法二天一流剣術（海外 16 カ国）
- ・兵庫 本體楊心流柔術（海外 8 カ国）
- ・大阪 琉球王家秘伝本部御殿手（海外 8 カ所）
- ・東京 和道流柔術拳法（海外 150 カ所）

2 課 題

①指導者層（コア層）

上記①日本武道協議会加盟団体が実施する国際交流事業は国レベルの交流であり、大部分が指導者層を対象に実施されている。武道の国際化に伴って、今後も事業の自然拡大が期待される。

②中間層（ミドル層）

上記②全国都道府県立武道館協議会及び③日本古武道協会加盟団体はいずれも全国各地に活動拠点が広がっており、日本武道協議会各道都道府県連盟を含め、各団体、流派が実施する国際交流事業は、指導者層と中間層が対象となっている。

今後の武道ツーリズム拡大が期待できるのはこの中間層で、課題は次の 3 点である。

◎いかに相手側のニーズを掘り起こすか ⇒ 固まりをどう掴むか

◎どのようなネットワークで連絡調整するか ⇒ 誰が、どのような団体がマネジメントするのか

◎日本側はどのような態勢で受け入れるのか ⇒ 会場、宿泊所、指導者、受講料等をどうするか。

この中間層の掘り起こしと実行こそが武道ツーリズムの将来の鍵といえる。

③初心者層（ライト層）

武道は基礎基本が大事で、交流には一定の技能習得が必要である。

初心者がいきなり、国際交流ということは武道の世界においては考えられない。

よって、初心者層については、各地のお城巡りや忍者屋敷などの観光で対応していくことになると考えられる。

以上